

ししがはな おおはし 獅子ヶ鼻大橋

別巻橋しんぶん

【獅子ヶ鼻大橋について】

- 場所は？……………新潟市西蒲区間瀬です。
- 長さは？……………116.2mです。
- 幅は？……………8.9mです。
- 誕生年度は？……………昭和55年です。
- 構造形式名称は？……………桁橋といします。



【獅子ヶ鼻大橋の構造形式について】

獅子ヶ鼻大橋は桁橋という構造形式が採用されています。
 桁橋は、橋脚や橋台の上に横たえられた桁だけで自動車などの荷重を直接支える橋です。最も簡単な例が丸木橋です。

桁の材料は、木橋、鋼桁橋、鉄筋コンクリート桁橋、プレストレストコンクリート（PC）桁橋などがあります。

主桁の断面形状は、木桁では長方形、鋼桁では鋼板を組み合わせたI形・鋼床版を一体とした箱形、鉄筋コンクリート桁及びPC桁橋ではT形または中空箱形が用いられます。

獅子ヶ鼻大橋は、プレストレストコンクリート（PC）桁橋のT形の構造形式です。

【用語解説】

- プレストレストコンクリート（PC）
 - ・ ・ ・ あらかじめ緊張材で応力をあたえたコンクリート

【桁橋のメリット・デメリットについて】

- 桁橋の構造的なメリットは？
 - ・ ・ ・ 他の橋に比べると技術的に簡単なことです。
- 桁橋の構造的なデメリットは？
 - ・ ・ ・ 多くの橋脚が必要なことです。

獅子ヶ鼻大橋には3つの桁 がかかっています。

